

平成31年(令和元年)度 福島区社会福祉協議会 事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

近年、福島区では大型等マンションの建設による転入者や、長く地域に住み続ける住民などで、人口は年々増加している。子どもから子育て世代、高齢者の人口の増加は、子育てや介護の問題、児童・高齢者・障がい者等の虐待問題、子どもの貧困や生活困窮をめぐる生活問題、特殊詐欺被害を含む消費者問題等、近隣や地域との関係の希薄化も含め、地域における福祉課題が多様化・重複化している。

こうしたなか、平成31年(令和元年)度は、男性の居場所づくり講座や介護予防をテーマにしたもの、コミュニティサロンフォーラムの開催、こどもの居場所・こども食堂の立ち上げ及び運営支援など、「居場所づくり」に取り組んだ。また、地域包括支援センター運営事業では商店街や郵便局、集合住宅集会室での出張相談、生活あんしん相談窓口(生活困窮者自立相談支援事業)では相談員が地域の会議に出向き事業周知を行うなど、アウトリーチの強化に取り組んだ。

地域における要援護者見守りネットワーク強化事業では、年2回の同意確認等による要援護者名簿の作成及び地域関係組織への提供のほか、本事業開始初期(平成27～29年)の要援護者名簿登録者に対する更新確認作業を行った。

12月には、区社協災害対策本部・災害ボランティアセンター設置運営訓練、福祉避難所開設訓練を実施。地域が主催する避難所開設訓練に参加するなど、大規模災害に備え実践に向けた訓練を地域・ボランティア・関係機関とともに取り組んだ。

なお、令和2年1月下旬以降感染が広がった新型コロナウイルス感染症の拡大に対し、感染予防対策を行いながら、区社協事業やボランティア活動、地域の福祉活動等の一部を休止・延期等の判断を行なった。

1. 会 議

- 令和元年 5月20日 監事による会計監査
5月23日 ボランティア・市民活動センター運営委員会
5月29日 善意銀行運営委員会
5月29日 理事会
6月14日 評議員会
6月14日 理事会
6月14日 地区・校下社協会長会
6月14日 地域ネットワーク委員長会
6月28日 ボランティア・市民活動センター運営委員会
10月10日 福祉基金（植本・小林・手嶋基金）運営委員会
12月23日 地区・校下社協会長会
12月23日 地域ネットワーク委員長会
- 令和2年 3月12日 ボランティア・市民活動センター運営委員会
3月16日 理事会
3月16日 地区・校下社協会長会
3月16日 地域ネットワーク委員長会
3月27日 評議員会

2. 事業概要

(1) 会員の募集

- ①基本会員（役員・組織構成会員）：92人
②賛助会員 個人：257人 / 団体：24団体

(2) 地域福祉活動推進支援

- ①地区・校下社協活動等への支援

地域の高齢者や障がい者、児童など誰もが地域で安心して生活できるよう地域住民の参加と協力による支えあい、助けあい活動を小

地域で実施する事業推進のための支援を行なった。

- ア 地区・校下社協会長会の開催（全2回）
- イ 地域ネットワーク委員長会の開催（全2回）
- ウ 子育てサロン連絡会の実施（1回）
- エ コミュニティサロン連絡会の参画（全5回）
- オ 地域福祉コーディネーター連絡会の参画（全11回）
- カ キャラバン・メイト連絡会の参画（全9回）
- キ 認知症サポーター養成講座への参画（全23回）
- ク 小地域福祉活動リーダー研修会
開催日：令和元年11月6日（水）
内容：講演会「ひきこもりと8050問題を考える」
講師：NPO法人KHJ全国ひこもり家族会連合会
理事 池上正樹 氏
参加人数：166人
- ケ 地域福祉活動カレンダーの作製4,000部
- コ 地域子育て応援マップの作製5,500部
- サ 子育て情報紙「フッピーキッズ」37・38・39号の
発行支援

②地域福祉推進への参画・推進

こどもの居場所づくり立ち上げに向けての協議の場設定と支援
（19回）

③地域支援システムの推進・参画

- ア 高齢者支援部会の開催（全3回）
- イ 高齢者虐待防止連絡会議の参画（1回）
- ウ 地域自立支援協議会の参画（4回）
- エ 子育て支援連絡会の参画（2回）

(3) 福島区社会福祉施設連絡会の運営

①連絡会の開催(全3回)

②福祉イベント『第18回あいあいまつり』への参加

開催日：令和2年2月8日(土)

内容：施設紹介コーナーの設置

ステージにて福島区民間保育所連絡会による和太鼓

③社会福祉施設連絡会職員向け研修会の実施

開催日：令和元年11月29日(金)

内容：『被災直後の施設での対応』

講師：認定NPO法人ゆめ風基金 事務局長 八幡隆司 氏

④地域貢献

ア 保育所(園)の保育士が地域の「子育てサロン」で歌あそび、手あそび読み聞かせ、体操等を実施(13回)

イ 夏休みボランティア体験2019の開催

小学校3年生から高校生を対象に施設連絡会参加施設でボランティア体験を実施。

体験期間：令和元年7月22日(月)～8月23日(金)

参加者：49人(小学校3年生～高校2年生)

体験施設：13施設

(4) 広報・啓発活動の推進

①機関紙「福島区社協あいあいだより」の発行(タブロイド版4面)

第77・78・79号(平成31年4月・令和元年8月・12月)

各23,000部発行

②子育て情報誌の発信

ア 子育て情報紙『フッピィキッズ』の発行支援(年3回)

イ 地域子育て応援マップの作成・発行(5,500部)

③インターネットや回覧等による情報提供

- ア 区社協ホームページで区社協事業や福祉・ボランティア活動に関する情報提供
- イ 区社協フェイスブックによる情報発信（４８回）
- ウ あいあいまつり、ボランティア養成講座等のチラシ・ポスターの掲示、回覧

④その他

- ア 区社協パンフレットの作成（４，５００部）
福島区民まつり、あいあいまつり、福島区転入者に配布
- イ 区社協事業広報うちわの作成（３，０００枚）を全地域に配布

（５）ふれあいイベントの開催

第１８回あいあいまつりの開催

区内の社会福祉施設、ボランティア、地域活動協議会などによる日頃の活動紹介・交流や福祉について啓発を行なった。

開催日：令和２年２月８日（土）

開催場所：福島区民センター

参加人数：約１，２００人

（６）福島区ボランティア・市民活動センターの運営

①情報の収集・発信（啓発・広報）

福島区社協だより、広報ふくしま、ボランティア活動情報誌『COMVO』等にボランティア講座受講生募集・イベントの周知・ボランティア活動者募集・助成金周知等の記事の掲載を行なった。

②事業企画

障がい児スポーツ・レクリエーションひろば

開催日：令和元年７月２６日（金）

開催場所：福島区民センター

参加人数：３５人

③ ネットワークの構築

ア ボランティア・市民活動団体連絡会（全2回）

イ 福島区コミュニティサロン連絡会の参画（全5回）

ウ 第4回企業・NPO交流会 in Fukushima

開催日：令和元年10月24日（木）

内容：Ⅰ部「救急入門コース」

Ⅱ部「災害用資機材の使い方」

講師：福島消防署

参加人数：14団体18人

エ あいあい音楽カフェの開催（全9回）

福島区ボランティア・市民活動センター登録ボランティアによる演奏

参加者：延べ147人

④ 活動への支援

ア 福島区内で活動している福祉に関するボランティアグループ・団体に対して、助成金を交付し活動を支援

a 福島区ボランティアグループ助成金：8団体320,000円交付

b 福祉ボランティア活動応援資金：9団体320,000円交付

c 福祉基金：植本・手嶋基金1団体50,000円、小林基金3団体150,000円交付

イ ボランティアグループへ場所・備品（印刷機、紙折り機、拡大機）等の提供

a 会議、練習等活動のための部屋の利用（22団体利用）

b 活動に必要な資料等作成のため印刷機等の使用（30団体利用）

ウ ボランティア研修会の開催

エ 助成金勉強会の開催

⑤福祉教育・研修の推進

開催日	内 容 ・ 場 所	参加 人数
6月26日	福島小学校 6年生 当事者講話「障がいについて」 車いす体験・高齢者疑似体験	59
7月1日	福島小学校 2年生 「発達障がいについて」	93
8月30日	海老江西小学校 3年生 アイマスク体験	21
9月19日	傾聴ボランティアグループ「やまびこ」 車いす体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験	6
9月26日	鷺洲小学校 6年生 認知症サポーター養成講座	84
11月7日	海老江西小学校 3年生 車いす体験	21
11月19日	海老江西小学校 3年生 当事者講話「聴覚障がいについて」 体験：手話・口話・空書・筆談	21
11月29日	福島小学校 3年生 当事者講話「視覚障がいについて」 アイマスク体験	69
1月30日 1月31日	八阪中学校 1年生 当事者講話「障がいについて」 車いす体験・高齢者疑似体験・アイマスク体験	154
1月25日	大開小学校 防災授業 1年生 防災かるた 4年生 語り「希望の木」、「ひさの星」ほか	95

2月25日	福島小学校 5年生 当事者講話「聴覚障がいについて」 体験：手話・口話・空書・筆談	46
2月27日	海老江東小学校 3年生(57人)・4年生(51人) 当事者講話「障がいについて」及び車いす体験	108

⑥ ボランティア活動支援（760件）

活動登録・ 需給調整	相談・問合せ 対応	グループ等へ の支援	ボランティア の養成	福祉教育 の推進
487件	75件	127件	15件	56件

⑦ ボランティア活動の紹介（令和2年3月末）

ア 個人・団体登録状況

個人登録者：64人

団体登録数：64団体（前年度：個人59人、団体65団体）

イ ボランティア活動回数2,209件（前年度：2,822件）

ウ ボランティア活動延人数11,705人（前年度：13,010人）

⑧ ボランティアの養成・育成

養成講座名	開催数	参加者(延べ)
傾聴ボランティア養成講座	3回	31人
災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座	3回	17人
精神保健福祉ボランティア養成講座	3回	30人
男性のための居場所づくり養成講座	4回	59人
歌体操ボランティア養成講座	2回	9人
ボランティア研修会（顔ヨガでスマイルアップ・グループワーク）	1回	16人

⑨ ボランティア総合保障制度（ボランティア保険）受付業務

個人ボランティアおよび諸団体・グループのボランティア活動を対象にボランティア活動中の予測しえない事故を補償する『ボランティア活動保

険』および、行事中の事故に対応する『ボランティア・市民活動行事保険』等への加入を促し、その受付業務を行なった。

ボランティア活動保険	Aプラン	116件	447人
	Bプラン	12件	138人
	Cプラン	5件	212人
ボランティア・市民活動行事保険	A区分	302件	8,507人
	B区分	0件	0人
	C区分	1件	80人
	宿泊：1泊2日	1件	45人
	イベント(不特定)	38件	3,143人
非営利・有償活動団体保険		3件	20人
移送中事故傷害保険			受け付けなし

⑩ 災害ボランティアセンターに関する業務

ア 災害訓練に向けた区社協職員事前研修（全2回）

イ 訓練に向けた事前協議（2回）

ウ 災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座（全3回）

エ M C A 無線通信訓練（2回）

実施日：令和元年9月5日（木）・令和2年1月17日（金）

オ 第4回企業・N P O交流会 i n F u k u s h i m a（1回）

カ 上福島地域避難所開設夜間訓練参加

開催日：令和元年11月16日（土）

キ 区社協災害対策本部・災害ボランティアセンター設置、福祉避難所開設訓練の実施

実施日：令和元年12月1日（日）

参加人数：76人

ク 災害用品の購入（備品及び備蓄用品）

(7) 障がい者福祉に関する事業

- ①点字本・点訳絵本の作成と貸出・寄贈
- ②福島区広報ふくしまの朗読テープ作成と貸し出し

(8) 地域福祉に関する事業

①車いす貸出事業

区内在住・在勤の方対象に、車いすの貸し出し（2週間）を実施

貸出し件数：58件（保有台数24台）

②スロープ貸出事業

区内在住・在勤の方を対象に、貸し出し（短期間：2週間程度）を実施。

貸出し件数：0件（保有台数6台）

③福祉用具貸出事業の実施

高齢者疑似体験セット・アイマスク・車いす・車いす用スロープ

貸出し件数：1件（52人利用）

(9) 高齢者福祉に関する事業

高齢者敬重訪問…令和元年度中に満100歳を迎える高齢者（対象者12人）に、記念品を贈呈。区社協会長、区長、地区・校下社協会長、町会長による訪問。

(10) 善意銀行の運営

- ①ボランティアグループ・団体等への払出し 8件
- ②歳末助け合い運動に対する払出し 4件
- ③各種行事等に対する払出し 3件

(11) 地域における要援護者の見守り支援ネットワーク強化事業

平成27年4月より「見守り相談室」をあいあいセンターに設置。

地域と行政が要援護者の情報を共有することで、孤立死の予防や災害時の避難支援、また認知症高齢者等の行方不明時の早期発見を図る。

機能①要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備

同意書を対象者に郵送または調査員の訪問により同意確認を行なった。

対象：① 65歳以上高齢者で要介護3以上の方または要介護2以下で日常生活自立度Ⅱ以上の方、区要援護者名簿登録者

② 身体障がい1・2級、視覚・聴覚障がい3・4級、音声・言語機能障がい3・4級、肢体不自由3級、知的障がいA、精神障がい1級

③ 難病患者（医療機器などへの依存度の高い人）

ア 同意確認書の郵送（再発送含む）

第1回目	8月19日	470人
第2回目	3月6日	468人
その他	4月	1人
合計		939人

イ 返信330人（返信率35.75%）

同意：265人 不同意：65人

ウ 訪問181件（回答率50.8%）

同意：54人 不同意：26人 死亡・転居：12人

未回答89人

エ 地域へ要援護者名簿の提供（令和元年11月1日発行）

提供先：各地域の地域振興会、地区・校下社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、地域女性団体協議会

オ 要援護者名簿の情報更新のため状況調べ

平成27年から平成29年に要援護者名簿へ登録された方に名簿掲載情報の更新確認作業を行う。約1,660通送付。

カ コミュニティソーシャルワーク活動事例集作成

目的：見守りネットワーク強化事業について、概ね5年程度の従事期間がある管理者（5区）が、事例をもとに支援方法や仕組みについて考察し作成。行政や大阪市社会福祉協議会など、関係機関に提供するため。

内容：見守りネットワーク強化事業「機能②」にかかる支援事例としくみ作りについて報告と考察。

作成：令和2年3月完成

キ 研修会「認知症のある方とのコミュニケーション」

内容：オレンジチームと同行。主任児童委員より「見守り活動の開始にあたり認知症の啓発から始めたい」との相談があったため、実施。

日時：令和元年9月28日（土）午前10時半～11時半

場所：ユニハイム集会場

ク 「ひきこもり」の理解～どのように考え、見守りすべきか～

内容：桃山学院大学共通教育機構 専任講師 横山泰三 氏

開催趣旨：社会問題となっている「ひきこもり」についての現状を知るとともに、地域活動者としてできることを皆で考える機会をもつ。

日時：令和2年1月24日 参加者：66人

機能②孤立世帯への専門的対応

ア 相談実人員243人

男性：92人 女性：147人 不明：4人

イ ひきこもり親の会「しまりす会」開催

奇数月第2土曜日（全5回） 参加者数延べ20人

※全6回予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、第6回目（3月）は中止とした。

ウ 講演会「ひきこもりと8050問題を考える」

11月6日 参加者166人

エ ペアレントトレーニング講座開催

7月～9月（全5回） 受講者数 延べ69人

機能③認知症高齢者等の行方不明時の早期発見

ア 発見協力者182件（民生委員・地域活動者・各種団体など）

イ 事前登録者44人（男性：20人 女性：24人）（累計）

ウ 行方不明発見依頼2件

配信依頼：区外0件 広域2件

発見場所：区内0件 区外1件 府外1件

エ 徘徊認知症高齢者位置情報探索事業（GPS利用）2件（累計）

オ 警察からの支援対象事案情報提供

39件（実人数 男性9人、女性20人）

カ 座談会「障がいてなかに？知的・発達・精神障がいを知ろう！」

6月25日 参加者18人

キ 発達障がい児の社会性を育てるための学習会

7月19日～8月29日の間で全5回実施

ク 啓発講座「子どもの虐待防止を考える～医師の立場から～」

※3月7日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症
拡大予防のため、中止とした。

（12）生活困窮者自立相談支援事業

平成27年4月1日から大阪市より受託し、福島区役所3階に「生活あんしん相談窓口（生活自立支援相談窓口）」を開設。新たに平成31年4月1日から3年間受託することとなった。

①相談実績

ア 新規相談受付件数（本人未特定を含む） 226件

イ プラン策定前支援終了件数（初回スクリーニング時） 161件

a 情報提供のみで終了 98件

b 他機関へのつなぎで終了 45件

c スクリーニング判断前に中断・終了 18件

- ウ 支援決定・確認件数（再プランを含む） 79件
- エ 就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標） 44件

②支援調整会議

- ア 支援決定・確認件数（再プランを含む） 79件
- イ 評価実施件数（再プラン含む） 98件
 - a 終結 49件
 - b 再プランして継続 42件
 - c 中断 7件

③事業実施・協力

福島区社会福祉協議会イベント「あいあいまつり」で出張相談会を開催。地域包括支援センター、見守り相談室と合同で、相談コーナーを設け、事業のPRを実施し、チラシの配布も行った。

④周知・広報

- ア チラシのリニューアル
- イ 福島区社会福祉協議会ホームページへの掲載
- ウ 福島区社会福祉協議会広報誌「あいあいだより」への掲載
- エ 地域福祉コーディネーター連絡会でチラシを配布
- オ 区民まつりでチラシを配布
- カ 地域への周知広報・事業説明
 - a 各地区の民生委員会へ事業周知
 - b 地域福祉コーディネーター連絡会に参加
 - c 福島区地域支援調整チーム「高齢者支援部会」に参加
 - d 各地域の町会長会議で全町会長へ事業周知

(13) 生活支援体制整備事業

平成29年11月より生活支援コーディネーターを配置し、高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を安心して営むことができるよう、多様なニーズや社会資源の実態を把握して、必要なサービスや社会資源を創出するよう努めた。

①ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築

- ア 情報収集及び一覧表等の把握と整備

コミュニティサロン、子ども食堂の情報を掲載した福島区コ

コミュニティサロンマップを作成。あいあい教室（なにわ元気塾）、URリバーサイドさぎす、福島区コミュニティサロンフォーラムにてアンケート実施。

イ 協議体の開催（全3回）

開催日：令和元年5月9日（木）、9月12日（木）、
11月14日（木）

②講座等の開催

ア 福島区コミュニティサロン講座（第1回・第2回）

開催日：令和元年9月20日（金）、9月27日（金）、
12月3日（火）、12月10日（火）

内容：講話「地域での居場所の大切さ」「区内のサロン紹介」
「座談会」

開催場所：あいあいセンター

参加人数：延べ52人

イ 買い物ボランティア養成講座（全4回）

開催日：令和元年10月2日（水）、10月9日（水）、
10月15日（火）、10月23日（水）

内容：基本的な介護技術について、車いす実習、中央卸売
市場見学ツアー、認知症サポーター養成講座

開催場所：あいあいセンター、イオン福島店、大阪市中央
卸売市場

参加人数：延べ16人

ウ 男性の居場所づくり講座

開催日：令和元年11月1日（金）、11月8日（金）、
11月15日（金）、11月29日（金）

内容：コーヒーの淹れ方講座、スマートフォンの使い方、
福島まち歩き、まち歩き座談会・区内サロン紹介

開催場所：あいあいセンター、福島区内

参加人数：延べ59人

エ 健康王国体験会

開催日：令和元年10月23日（水）、10月28日（月）
11月21日（木）、12月9日（月）

内容：介護予防運動機器「健康王国」を用いた体操

開催場所：あいあいセンター

参加人数：延べ60人

オ 福島区コミュニティサロンフォーラム

開催日：令和2年1月28日（火）

内容：基調講演「子どもの居場所づくりの必要性について」
「区内のキッズサロン・子ども食堂の事例紹介」「パネルディスカッション」

開催場所：福島区民センター

参加人数：150人

カ リバーサイドサロン

開催日：令和元年10月31日（木）、11月19日（火）
12月20日（金）、令和2年1月23日（木）、
2月14日（金）

内容：体操、カフェ、健康王国を使ったカラオケ

開催場所：URリバーサイドさぎす 5号棟集会所

参加人数：延べ45人

③活動の場の発掘・開発

社会福祉施設連絡会や介護ホーム連絡会にて、利用可能な活動の場に関するアンケートを実施。

④サービス実施情報の周知

フェイスブックを活用し、活動写真添付・活動紹介を行った。福島区コミュニティサロンカレンダーを2ヶ月毎に作成し、福島区コミュニティサロン連絡会、区役所での掲示、区社協HP等で周知を行った。

⑤その他

生活支援体制事業について、地域に出向いてチラシを配付するなどし、事業説明等を実施。また、各サロンの活性化や活動者のネットワーク強化、新規サロンの立ち上げを目的に、コミュニティサロン連絡会を2ヶ月に1回開催。

（14）地域の福祉活動サポート事業及びふくしま暮らし支え合いシステム事業

①地域の福祉活動サポート事業

平成28年度より、各地域のコミュニティセンターや福祉センターに相談窓口「みんなの相談室」を設け、地域事情に詳しい人材を「地

域福祉コーディネーター」として配置。相談や情報提供、地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業の推進等に取り組んだ。

また、毎月1回事務連絡会を定例開催し、情報交換の他に研修を実施し、資質向上を図った。

ア 相談・安否確認・見守り把握・開室日数など

a 相談ならびに安否確認を含む件数… 11, 535件

訪問：2, 430件 来館：8, 527件 電話：578件

b 見守り・状況把握

延べ人数23, 372人

c 開室日数（延べ日数）… 1, 897日

（平日1, 842日・休日55日）

イ 地域福祉コーディネーター事務連絡会 実施内容

	開催日	主な内容
1	4月5日	○前年度の振り返りと、今年度の活動について
2	5月10日	○高齢者を支えるサービスの全体を知ろう
3	6月7日	○高齢者を支えるサービスの全体を知ろう 認知症の方への支援
4	7月5日	○緊急時の安否確認について
5	8月2日	○6月研修の振り返り 認知症の方を理解する思考整理シートのご提案
6	9月6日	○令和元年度「区民まつり」について ・「物販」変更と再企画 ・午前9:00～12:30（準備を含む） ・午後12:30～16:00（片づけを含む）
7	10月4日	○令和元年度「区民まつり」について（最終打合せ）
8	11月1日	○「区民まつり」の報告と振り返り
9	12月6日	○介護保険について
10	1月10日	【研修】障がい者福祉の制度・サービスに関すること、接し方や関わり方についてわからないことを聞いてみよう

		助言者：福島区障がい者基幹相談支援センター 相談支援専門員 石井一枝 氏
1 1	2月7日	○今年度の振り返り
1 2	3月6日	新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止

ウ 地域福祉コーディネーター研修会運営協力・受講一覧

1	11月6日	ひきこもりと8050問題を考える
2	1月28日	福島区コミュニティサロンフォーラム 「子どもたちの居場所についてみんなで考えてみませんか」

エ 周知、広報

a あいあいだよりに掲載

b 区民まつり、あいあいまつりでチラシ配布

②ふくしま暮らし支え合いシステム事業

公的サービスの対象とならない軽微なニーズに対して、地域住民の中から、有償ボランティア（サポーター）を募り援助する本事業について、平成28年度より福島区社会福祉協議会が受託し運営を行った。

ア 利用者・サポーター登録数

利用登録者数			サポーター登録者数		
男性	女性	計	男性	女性	計
101人	328人	429人	24人	55人	79人

※平成31年3月末現在と比較して

- ・利用登録者数は、計41人増（男性9人・女性32人）
- ・サポーター登録者数は、前年度と同じ（男性1人・女性－1人）

イ マッチング数

合計745件（男性依頼者133件、女性依頼者612件）

ウ サポーター研修・交流会 実施内容

	開催日	主な内容
1	7月27日	「特殊詐欺に騙されないように」 講師：福島警察署員
2	9月4日	「コグニサイズ」 講師：福島区社協職員
3	11月6日	「ひきこもりと8050問題を考える」 講師：NPO法人KHJ全国ひきこもり家族連合会 理事 池上 正樹氏
4	1月28日	福島区コミュニティサロンフォーラム ～子どもたちの居場所について考えてみませんか～ I部 基調講演 「子どもの居場所づくりの必要性について」 講師：NPOこどもソーシャルワークセンター 理事長 幸重 忠孝氏 II部 事例紹介 III部 パネルディスカッション
5	2月27日	「コグニサイズⅡ」 *新型コロナウイルス拡大防止のため中止する
6	3月14日	見学会 「大阪市阿倍野防災センター」 *新型コロナウイルス拡大防止のため中止する

(15) その他

①安全衛生委員会の開催

労働安全衛生法に基づき、職員の危険及び健康障害の防止を防ぐための基本的な対策について、産業医や衛生管理者等による調査審議を行った。

開催日：9月17日(火)、10月7日(月)、11月21日(木)、
12月11日(水)、1月9日(木)、2月25日(火)、
3月4日(火)

② ストレスチェックの実施

労働安全衛生法に基づき、ストレスに関する質問票に職員が記入し、職員自身のストレスがどのような状態にあるのか調べる検査を実施。区社協採用職員 29 人が受検した。

③ 日赤会費（社資）事務への協力

④ 大阪府共同募金会事務への協力

実施期間：令和元年 10 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

内容：街頭募金活動への協力、助成金配分申請・内容の周知

⑤ 大阪府生活福祉資金（申込窓口）への協力

ア 緊急小口資金

電話対応 117 件 面談回数 28 回

申込み 1 件（うち、受理 1 件）

イ 福祉費

電話対応 164 件 面談回数 33 回

申込み 2 件（うち、受理 1 件、不受理 1 件）

ウ 総合支援資金

電話対応 72 件 面談回数 10 回

申込み 0 件

エ 教育支援資金

電話対応 74 件 面談回数 10 回

申込み 3 件（うち、受理 3 件）

オ 臨時特例つなぎ資金

電話対応 0 件 面談回数 0 回

申込み 0 件

カ 不動産担保型生活資金

電話対応 7 件 面談回数 2 回

申込み 0 件

キ 新型コロナウイルス感染症特例

緊急小口資金申込み 8 件

⑥その他

ア 大阪市社会福祉大会への参加

開催日：令和元年 10 月 30 日（水）

イ 福島区民まつりへの参加

開催日：令和元年 10 月 19 日（土）

内容：区社協広報活動、手づくりおもちゃ広場、岡山県物産販売、バルーンアート

3. 公益事業・介護保険事業・指定管理運営事業

(1) 地域包括支援センター運営事業

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、介護予防対策や状態に応じた介護・医療のサービスが切れ目なく提供できることを目指し、地域高齢者の心身の健康維持・生活安定のために必要な援助や支援を包括的に提供する。また高齢者虐待の防止および対応や権利擁護に基づき個人の権利を主体的に行使できるように支援を行う。

①総合相談支援

様々な相談に的確に対応できるよう、福祉・保健・医療等関係機関と連携し、本人・家族・近隣住民・地域等からの相談に対応。また、下福島・野田在宅サービスステーションに総合相談窓口（ブランチ）を委託し、各地域の相談に対応。

相 談 機 関	延べ相談件数
地域包括支援センター	5, 964 件 (前年度 5, 722 件)
総合相談窓口 (下福島・野田ブランチ)	2, 034 件 (前年度 2, 236 件)

②権利擁護・高齢者虐待防止への取り組み

ア 総合相談で、権利擁護の支援が必要な高齢者に対して、保健福祉センターや関係機関と連携をとりながら、成年後見制度等の活用支援を行った。

- a 成年後見制度に関する相談 延べ140件
- イ 虐待の疑いのある高齢者に対し関係機関と協力し対応を行った。
 - a 高齢者虐待に関する相談 延べ222件
- ウ 虐待の緊急性・虐待の有無、状況確認、対応計画の策定、終結等の判断を行う「サービス利用調整会議」の開催 延べ57回

③ 予防給付に関するマネジメント

要支援1・2の要支援認定者や家族の希望、生活機能等の把握、課題の分析を行い、介護予防サービス計画を作成し地域での生活を支援。

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
認定者数 (人)	744	550	460	516	370	411	236
備考	認定総数 3,287人 うち 要支援1・2ケアプラン作成 月平均792件						

※平成31年4月1日時点における介護保険システムからの抽出情報

④ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

ア 地域ケア会議（自立支援型検討会議含む）

医療、介護等の多職種が協働して高齢者の個別課題の解決を図るとともに、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める地域ケア会議を開催した。12月より「要支援者等の生活行為の課題の解決、状態の改善に導き、自立を促す。QOL（クオリティ・オブ・ライフ：生活の質）の向上」を目指して、「自立支援型ケアマネジメント検討会議」を開催した。（23回開催）

イ 総合相談窓口連絡会議

地域の相談窓口（ブランチ）である阪神長楽苑（下福島地域）、福島ともしび苑（野田地域）と定期的に連絡会を開催し、地域の相談状況や介護予防啓発等の情報交換を実施。（11回開催）

ウ 地域における居宅介護支援事業所の後方支援

- a 福島区内で業務を行う、ケアマネジャーの支援のため、相互の情報交換、研修会等を開催（11回開催）

b 日常的に処遇困難な事例に関するケアマネジャーへの個別支援
延べ730件

⑤関係機関のネットワークの形成

ア 区内、近隣区の事業所の相互の情報交換・資質の向上と、住民
にとってよりよいサービスをめざし、各種連絡会を開催。

a 福島区ホームヘルパー連絡会（4回開催）

b 通所事業者連絡会（4回開催）

c 医療機関相談員等連絡会（4回開催）

d 訪問看護事業所連絡会（2回開催）

e 介護ホーム連絡会（4回開催）

イ 医師会・歯科医師会・薬剤師会、介護事業者等と連携し「福島
区在宅医療を考える会」を開催。

a 在宅医療を考える会 世話人会（5回開催）

ウ 在宅医療を考える会、福島区介護保険事業者連絡会合同研修会

開催日	内 容	参加 人数
7月18日	スキルアップ研修会 「入退院支援について」 講師：大阪府訪問看護ステーション協会 理事 錦織 法子氏	103 人
9月19日	講演「脳卒中の包括的治療（救急から在宅まで） ～とくに急性期治療について～」 講師：関西電力病院 脳神経外科主任部長 中島 英樹氏	70人
10月15日	講義「大規模災害における福祉サービス事業所の 事業継続計画」・グループワーク 講師：認定NPO法人ゆめ風基金 事務局長 八幡 隆司	53人
11月11日	ワールドカフェ「認知症、看取りの際の意思決定 ～もしもあなたが、そしてあなたなら～」	72人

エ 健康展の開催

a 健康展実行委員会（4回）

b 福島区健康展～今日から始める健康への第一歩～

令和元年10月26日（土）福島区民センター 565人参加

⑥ 包括支援センター・介護・保健福祉サービスの周知広報

地域包括支援センター、介護事業所、医療機関をわかりやすくまとめた情報誌「かいご・福祉情報ガイド第7号」を3,000部発行。今回より、介護保険情報に加え、百歳体操やつどいの場等のインフォーマルな社会資源を掲載し、高齢者の誰もが役立つ情報誌づくりに努め、相談窓口の周知広報を行った。その他、福島区民まつり、健康展、あいあいまつりで周知チラシを配布。

⑦ 出張相談会・イベント等の実施

ア 介護保険やその他の相談に関して、各地域コミュニティセンターや集会所などに出向き相談を受け付けた。（全地域月1～2回訪問）

イ 複合した相談等にも対応できるよう、地域自立支援協議会等と連携し、区役所1階にて出張相談会を開催。（毎月第4金曜日、年12回実施）

ウ 大阪福島郵便局ATM前にて、ランチと連携し、介護なんでも相談会を開催。（偶数月の15日※15日が土日の場合、直前の金曜日5回実施）

エ 新橋筋商店街「百縁笑店街」に出店。認知症チェック・アンケートを実施。（4月・2月の2回実施）

オ 大開老人クラブ会員対象に認知症・介護予防講座開催。（全3回実施）

カ 集合住宅での出張相談会・イベントの実施。（2か所5回実施）

⑧ 認知症強化型地域包括支援センターの運営

認知症初期集中支援チームを置く認知症強化型地域包括支援センターとして、認知症高齢者を支援する区内ネットワークの充実を図り、大阪市が取り組む認知症にかかる地域包括ケアシステムの構築を推進し認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることが

できることをめざした。

ア 認知症初期集中支援チーム員会議への参画… 12回

イ 実務者レベルの会議開催… 4回

ウ 代表者級会議の開催… 2回（うち、1回は書面による報告）

(2) 家族介護支援事業 家族介護者のつどい（かいご泣き笑い会）

日常介護している家族が、勉強会や施設見学・交流会を行うことにより、介護について一人で悩まないことを目的とした事業を実施。

開催日	内 容	参加人数
5月16日	身分保証と後見人制度の違いについて	14
7月18日	大人用オムツについて～オムツ選び、使い方～	14
9月19日	アロマセラピー スプレー作り	21
11月21日	最新介護用品の出張展示会	16
1月16日	シルバー世代の美容講座	20
3月19日	中止	

(3) 認知症初期集中支援事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、その人らしい生活を継続することができるよう、医師と、医療・介護福祉の専門職で構成する認知症初期集中支援チームを地域包括支援センターに設置、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。

① チーム員の活動

適切な医療や介護サービス等に結びついていない、認知症または認知症の疑いのある方及びその家族を訪問し、アセスメントや受診勧奨、家族支援等の初期支援を包括的集中的に行い、自立生活のサポートを行う。

② 地域支援推進員の活動

認知症の方を支援するネットワークの構築・推進のため、認知症カフェの運営推進、認知症サポーター養成講座への協力など、認

知症になっても暮らしやすい町づくりのための活動を、様々な機関や団体と連携しながら行う。

【具体的な活動内容】

- ア 医師・包括相談員・チーム員で、支援ケースの方向性を検討するため、認知症初期集中支援チーム員会議開催… 12回
- イ 認知症初期集中支援チーム対応ケース（若年性認知症の相談含む）… 55件
- ウ ネットワーク構築・推進にかかる会議等への参画… 31回
- エ 事業の推進・広報啓発活動実績（案内チラシの配布等）… 119か所
- オ 関係者会議への参加… 4回
- カ 代表者級会議への参加… 1回（2回目は会議開催中止）
- キ 認知症カフェへの側面的支援… 46回
- ク 認知症の人が従事するカフェ「ゆっくりカフェin英國屋」への参加

開催日：9月6日（金）

開催場所：大阪市役所地下2階 英國屋

参加人数：153人（福島区より従事者として、当事者2人・施設スタッフ2人・オレンジサポーター1人参加）

（４）認知症サポーター地域活動促進事業（モデル事業）

福島区を含め3区がモデル事業として、平成30年4月より実施。認知症高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らしつづけられるよう、認知症高齢者を見守り、支援する体制の構築を目指すとともに、地域において認知症高齢者の支援や認知症に関する市民の正しい理解の促進を図った。令和2年3月末を持って2年間のモデル事業が終了した。

① オレンジサポーターと活動場所の登録

ア オレンジサポーター登録者数… 21人

イ 活動場所の登録… 2か所

② オレンジパートナー企業・団体の拡大

ア 福島区キャラバン・メイト連絡会の開催… 9回

イ 福島区の認知症サポーター養成計画の作成

a 認知症サポーター養成講座開催数… 23回

b 認知症サポーター養成講座受講者数… 266人

ウ 企業・団体への講座の受講推奨

エ オレンジパートナー企業・団体の登録… 15件

オ オレンジパートナー社会貢献活動の周知 大阪市ホームページに掲載

③ その他

ア 認知症の人が従事するカフェ「ゆっくりカフェin英国屋」への参加

開催日：9月6日（金）

開催場所：大阪市役所地下2階 英国屋

参加人数：153人（福島区より従事者として、当事者2人・施設スタッフ2人・オレンジサポーター1人参加）

（5）居宅介護支援事業

介護保険による要介護・要支援認定者の申請代行、契約に基づいてケアプランを作成し、サービス事業者との調整を図りながら支援を行なった。

平成31年度 居宅介護ケアプラン作成件数（介護予防プラン含む）

月 別	作成件数（件）
4月	61
5月	56
6月	56
7月	51
8月	49

9月	46
10月	29
11月	27
12月	25
1月	25
2月	0
3月	0
合計	425件 (前年度937件)

(6) あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方への日常生活自立支援事業について、地域での利用待機の解消および今後の利用希望追加のニーズにこたえるため、区社協において相談から契約、福祉サービス等利用援助および日常金銭管理・書類等預かりサービスの提供を行なった。なお、福祉サービス等利用援助、日常金銭管理サービス等の提供にあたっては、一体的に実施した。

①相談及び対応件数 3,731件（前年度3,571件）

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他
1,551件	1,011件	832件	337件

②サービス利用者数（令和2年3月末現在） 34人（前年度41人）

③委任契約締結件数 2件（前年度4件）

④委任契約終了件数 9件（前年度7件）

(7) 介護予防事業

①介護予防教室事業（あいあい教室）

月1回、コミュニティセンター・福祉センターで要支援・要介護状態をできる限り予防し自立した生活が送れるよう講座を開催。

実施地域	延べ参加人数	
	4～9月	10～3月
上福島 地域	41人	28人
福島 地域	60人	42人
玉川 地域	88人	53人
野田 地域	144人	81人
吉野 地域	75人	72人
新家 地域	85人	63人
大開 地域	54人	23人
鷺洲 地域	66人	60人
海老江東 地域	68人	54人
海老江西 地域	114人	85人
合計	795人 (前年度827人)	561人 (前年度829人)

(令和2年2月21日～3月31日まで中止)

②介護予防運動クラブ（区社協独自事業）

ア 介護予防運動クラブ「ベーシック」「スタンダード」

複合型介護予防教室事業の設備や講師のノウハウを活用し、区社協独自の介護予防運動事業を実施した。

実施期間：令和元年5月～令和2年3月の月・水・金曜日

対象者：区内在住の概ね60歳以上の方

定員：8人（先着順）

参加費：3,000円（全10回分）

【参加人数一覧（延べ人数）】

	月曜 コース	水曜 コース	金曜 コース	計
ベーシックコース	186人	170人	185人	541人
スタンダードコース	121人	108人	203人	432人
計	307人	278人	388人	973人

(令和2年2月21日～3月31日まで中止)

イ 介護予防運動クラブ「フリー」

介護予防運動の継続的な取り組みの重要性と参加者の継続実施の要望から、フリー教室(全5回)を実施した。

実施期間：令和元年4月～令和2年3月の火・木曜日

対象者：区内在住の概ね60歳以上の方(定員6人(先着順))

参加費：6,000円(全20回分)

【参加人数一覧(延べ人数)】

	火曜コース	木曜コース	計
フリー教室①	140人	75人	215人
フリー教室②	170人	113人	283人
計	310人	188人	498人

(令和2年2月21日～3月31日まで中止)

③ あいあい健康体操教室(区社協独自事業)

健康運動指導士による、椅子に座って行う簡単なストレッチ体操やトレーニングを通して、筋力の維持・向上を図る健康体操教室を実施した。

実施日時：金曜日(第一部13:30～ 第二部14:45～)

実施回数：40回

参加人数：延べ493人

参加費：2,500円(5回分)

(8) 地域密着型通所介護事業(デイサービスセンター)

① 月別利用者数

		月末契約人員(人)	利用人員(人)
H31年 R元年	4月	42	268
	5月	40	256
	6月	43	243
	7月	39	285
	8月	39	290
	9月	39	224
	10月	40	229
	11月	37	216

	12月	37	219
R2年	1月	37	190
	2月	38	166
	3月	36	201
合計		467人 (前年度497人)	2,787人 (前年度3,290人)

②年間利用者数

契約実人員	6人
実施日数	239日／年間
平均利用者数	11.6人／日

③デイサービスセンター運営推進会議の開催

第1回：令和元年9月（書面による活動状況等の報告、評価等）

第2回：令和年3月（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催）

(9) 介護保険要介護認定・障がい程度区分認定調査事業（受託外関連事業）

介護保険制度にかかる要介護認定調査、自立支援法に基づき程度区分認定調査において介護保険サービスに円滑に繋がるように調査業務をおこない、大阪市社会福祉協議会との連絡調整を行なった。

(10) 子ども・子育てプラザ事業

①子育て活動支援事業

ア 子育て情報の収集・管理・提供

a 講座等の情報を広報紙とホームページにより広く提供

・プラザだよりの発行・・・・・・・・・・・・・・・・・・12回

・ホームページの情報更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・随時

b 区保健福祉センターで実施される赤ちゃん広場等に出向き、
情報提供

イ 地域の自主的な子育て活動への支援

a 地域の子育てサークルへの活動場所の提供、遊具等の貸し出し

を実施

- ・おもちゃ病院への活動場所提供・・・・・・・・・・ 1 1 回
- ・遊具の貸し出し・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 4 回

b 子育て支援ボランティア養成講座・ステップアップ講座の実施

内 容	開催回数	参加人数
子育て支援ボランティア養成講座	6 回	2 7 人
地域子育て支援活動者研修	中止	—

c 地域子育てサロンへの出前講座の開催

- ・出前講座の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 1 回

ウ子育て中の親子の支援

- a 子育て中の親子が参加しやすいよう、様々な子育て支援講座を実施。

今年度より、3回連続講座『2歳児の広場』を開催。

内 容	開催回数	参加人数	内こども(人)
ベビーマッサージ	1 1 回	2 7 5 人	1 4 0 人
ウキウキ身体測定	1 1 回	9 2 4 人	4 8 1 人
英語を楽しもう	1 1 回	8 3 1 人	4 4 6 人
親子ピクス	6 回	3 7 1 人	2 0 0 人
似顔絵を描いてもらおう	5 回	7 3 人	3 6 人
こいのぼりをつくろう	1 回	7 9 人	4 3 人
七夕かざりをつくろう	1 回	8 0 人	4 4 人
金魚・スーパーボール遊び	1 回	1 0 4 人	5 6 人
おひなさまをつくろう	1 回	6 5 人	3 7 人
歯のおはなし	1 回	4 5 人	2 6 人
パパのための読み聞かせ講座	1 回	2 6 人	1 1 人
防犯教室	1 回	5 4 人	2 9 人
食中毒予防のおはなし	1 回	7 1 人	3 7 人
食育講座	1 回	5 9 人	3 0 人

冬の過ごし方	1回	121人	62人
すくすく離乳食作り	2回	16人	(一時保育15)
親子クッキング	1回	16人	8人 (一時保育4)
マタニティヨガ	2回	10人	0人
プレママ・プレパパ講座	2回	10人	0人
音楽コンサート	1回	77人	39人
いっしょにあそぼう(こどもの日)	1回	42人	26人
クリスマス会	1回	205人	110人
プラザまつり	1回	206人	104人
ママのメンタルヘルス	1回	6人	(一時保育5)
2歳児の広場 (3回連続講座3クール:最終回中止)	8回	163人	55人 (一時保育39)

エ 児童の健全育成

児童が楽しく参加できるように、様々な行事を実施。また、つどいの広場の乳幼児に絵本の読み聞かせを行うなどの『こどもボランティア活動』も行った。平成29年度より、7月21日から8月31日の夏休み期間中は月曜日と祝日も開設。プラザから遠い地域の児童対象の講座を区民センターにて実施した。

開設日：火曜～日曜（祝日・年末年始等を除く）

7月21日から8月31日の間の月曜・祝日

開設時間：火曜～金曜 …放課後～午後5時

土・日曜、春・夏・冬休み

…午前9時30分～12時、午後1時～午後5時

開設日数：275日／年間

利用人数：3,771人／年間（前年度5,285人／年間）

内 容	開催回数	参加人数
卓球の日	32回	176人
あつまってあそぼう	3回	16人
ドッジボール大会	1回	20人
卓球大会	1回	6人
デザートづくり	1回	17人
プラバンでキーホルダー作り	1回	22人
アクアビーズ	1回	10人
けん玉教室	3回	29人
スーパーボールすくい	1回	18人
クリスマス会	1回	12人
新春お楽しみ会&けん玉教室	1回	11人
進級お楽しみ会	中止	—
《こどもボランティア活動》		
おはなしの時間	21回	471人
みんなでつくろう	4回	25人
《アウトリーチ》		
自由研究のネタをさがそう	1回	11人
思い出をかざろう	中止	—

オ 地域関連事業

併設の老人福祉センターと共催で節分工作を実施。今年度は、老人福祉センターで開催する盆踊りに乳幼児の親子が参加し、交流した。また、囲碁将棋教室と共催で将棋大会と囲碁大会を開催。

内 容	参加人数
将棋大会	18人
囲碁大会	13人
きらめきセンターの盆踊りに参加しよう	24人
節分工作と豆まき	136人

②ファミリー・サポート・センター事業

大阪市ファミリー・サポート・センター事業の支部業務を実施

活動件数：795件（前年度827件）

令和2年3月31日現在の会員数

依頼会員	提供会員	両方会員
136人	52人	6人

③地域子育て支援拠点事業（つどい広場事業）

ア 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

0歳～就学前の乳幼児とその保護者が、自由に交流できる場所を提供

開設日：火曜～土曜（祝日・年末年始等を除く）

開設時間：午前9時30分～午後2時

開設日数：222日／年間

利用人数：15,161人（うち乳幼児8,279人）／年間
（前年度16,376人（うち乳幼児8,658人）／年間）

内 容	開催回数	参加人数	内乳幼児
手形のお誕生日カード	11回	221人	112人
お誕生日会	11回	354人	195人
ちっち☆ひまわり	2回	92人	49人
ブックスタート	11回	177人	80人

イ 子育て等に関する相談、援助の実施

利用者が相談しやすい関係作りに努め、内容に応じて情報を提供し、関係機関との連携により利用者の不安が軽減するよう援助。

ウ 地域の子育て支援関係機関・グループとの連携

地域での子育て支援を実施するため、関係機関・グループと連携し、公共機関等に出向いて、親子交流や地域支援活動等を実施する。

内 容	開催場所	開催回数	参加人数
しゃぼん玉	福島公園	1回	134人
出張ひろば	ウイステ	2回	178人
出張ひろば	セブンイレブン	4回	60人

エ ブックスタートの実施

福島図書館とボランティアによるブックスタート事業を実施。

④福島区において実施する独自事業

ア 子育て情報誌の編集委員会の開催。

a 子育て情報誌「フッピーキッズ」の編集委員会の開催（3回発行）。

b 子育てに関する情報提供、「おでかけカレンダー」の発行（年12回）。

イ 子育て支援連絡会における事務局

事務局として子育て支援連絡会を運営し開催（2回）。

子育て支援関係機関の情報交換等。

⑤新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う事業中止

2月29日～3月31日の間、子育て相談とファミリー・サポート・センター事業を除くプラザ事業を中止した。

(11) 老人福祉センター事業

指定管理の初年度として、令和元年度も引き続き高齢者一人ひとりが抱える課題や悩みの相談窓口として、あいあいセンターとの連携をはじめ、適切な相談機関につなげることを意識して、諸事業に取り組んだ。また、「福島区高齢者の生きがいと健康づくり推進事業」を実施し、一般介護予防を目的とした百歳体操をはじめとする健康づくり事業を年間通してつなぎ目なく開催した。

①健康づくりと介護予防の促進事業

一般介護予防を目的とする健康づくり事業として、健康づくりの3講座を年間30回実施するとともに、講話に体操を交えた健康いきいき教室を年間10回開催した。

また、気軽に参加できる健康づくりとして、百歳体操を毎週2回、年間82回実施し2,431人が参加するなど、年々高まる高齢者の健康づくりに対する要望につなぎ目なく応えた。他に、大阪市保健所による結核検診を踏まえた健康教育や、企業とタイアップして健康チェックを兼ねた講座を実施した。

ア 健康づくり講座

事業名	開催回数	参加人数	備考
健康体操	10回	265人	5～11月(計10回)
座ってビクス	10回	299人	5～11月(計10回)
モビバン体操	10回	274人	5～11月(計10回)
合計	30回	838人	

イ 健康・体力づくり行事

事業名	開催回数	参加人数	備考
健康いきいき教室	10回	323人	8月の夏季5回、2月の冬季5回
卓球ひろば	31回	589人	毎月曜
ディスコンひろば	29回	456人	毎月曜
百歳体操	82回	2,431人	毎週火曜、木曜
気軽に健康チェック	2回	60人	6/5、2/21 福島薬局、阪神薬局
結核検診と健康教育	1回	9人	7/10大阪市保健所
合計	155回	3,868人	

②生きがいづくり事業

高齢者のいきがいづくり、健康づくり、社会参加などを支援するために各種講座やイベントを開催するとともに、同好会活動の立ち上げ・日程調整・広報等を支援した。

ア 生きがい探究の機会の提供

「七夕まつり」、「風鈴まつり」の季節行事、「食事・栄養」や「相続」について企業、金融機関とタイアップした講座・教室を開催。また、「施設見学・体験」、「地元中央卸売市場の買物・見学」、「手作り工作」、「英会話」、「フォークダンス」、一人で楽しめる「数独」と幅広く開催、実施した。

事業名	開催回数	参加人数	備考
相続と相続税	1回	36人	4/17大阪府金融広報委員会
チーズを美味しく楽しむ会	2回	48人	5/31、6/5雪印メグミルク
きらめき七夕まつり	1回	162人	7/1～7/6
風鈴まつり	1回	20人	7/2～9/27
「飾り結び」体験教室	2回	39人	8/30、12/4
阿倍野防災センター 見学・体験	1回	11人	9/5
きらめき探索探検 舞鶴バスツアー	1回	45人	11/1舞鶴港めぐり、赤レンガ博物館

楽しいフォークダンス	2回	26人	11/29、 12/13
中央卸売市場見学	1回	28人	12/5
ECCおとなの英会話カン	1回	26人	1/22
手作り立体カード	1回	10人	1/30
音楽鑑賞会 「きらめきコンサート」	中止	0人	2/28 関西大学応援団 吹奏楽部
シニア向けスマホ体験講座	中止	0人	3/16
パナソニックミュージアム 見学	中止	0人	3/27
チャレンジ数独	常時	6,793人	1日平均 25.7人
図書館本貸出	常時	42人	福島図書館
ダイヤモンドエイジ写真展	常設	54人	常設展示
合計	12回	7,340人	

イ サークル活動支援

事業名	開催回数	参加人数	備考
俳句同好会	9回	71人	第2土曜
リズムセラピー	19回	1,290人	第2・4木曜
民謡同好会	27回	228人	第1・3月曜、 第2・4木曜
民踊同好会	53回	446人	第1～4月曜、 第1・3木曜

カラオケ同好会 (1部・2部)	62回	737人	第1～4水曜、 第4月曜、火曜
卓球同好会 (1部・2部)	92回	1,000人	第1～4月・ 火曜・金曜、 第1土曜
映画同好会	19回	113人	第1・3金曜
銭太鼓同好会	22回	221人	第1・4土曜
フラダンス同好会	41回	200人	第1・3木曜
絵画同好会	22回	246人	第2・4木曜
詩吟同好会	22回	263人	第2・3土曜
区老連コーラス同好会	24回	776人	火曜 (月2,3回)
書道同好会	11回	167人	第2月曜
生花同好会	9回	92人	第4水曜 (8月休み)
ダーツ同好会	41回	500人	毎水曜
シニア元気クラブ (健康体操同好会)	27回	716人	第1・3金曜 (月2回以上有)
折り紙同好会	23回	380人	第2水曜、 第3土曜
書道細字同好会	10回	191人	第4月曜
大正琴同好会	20回	176人	第1・3月曜
ティーセレモニー	10回	38人	第3木曜
初級囲碁教室	36回	274人	毎月曜
ゲーム1・2同好会	73回	943人	第1～4木曜、 第2・4金曜

ネット囲碁同好会	66回	484人	毎週水・土曜
笑いヨガ同好会	14回	233人	第2・4木曜(8・12月休み)
新舞踊同好会	32回	208人	第1・2・4火曜
シニアフィットネス (いきいき体操同好会)	21回	447人	水曜(月1, 2回)
合 計	783回	10,440人	

③相談・情報機能の充実

ア 身近な相談体制づくり

高齢者の身近な相談窓口として、「あいあいセンター」をはじめ、関係機関につなげる機能の充実に努めた。利用者との情報交換のなかで、相談事項の拾い上げを行い、高齢者に係る問題をテーマにした講座を開催した。

イ 公的情報ならびに健康および生活関連の情報提供

福島区役所、警察署、消防署の公的機関の情報を高齢者に適時、適確に伝えることを目的に当該年度も引き続き、防犯・交通安全、防災・防火等の啓発を図る情報提供を行った。3/4開催の区長と高齢者の対話集会「きらめきミーティング」は新型コロナウイルス感染予防の為、2/29から閉館、中止となる。

④利用者の自律したセンター運営の推進

同好会の代表者による「利用者代表者会」を設けて、利用者自らが文化祭や七夕まつり等の行事に参画し、企画立案ならびに実行まで、利用者が自律的にセンター運営に関われるように努めた。

⑤老人クラブ活動の支援

単位老人クラブの連合組織である区老人クラブ連合会の業務及び同会が実施する行事を支援した。令和元年度は定例の教養講座交

流発表会、カラオケ大会を支援した。

⑥世代間交流事業

区内の保育所・学校園の子どもと高齢者がふれあう行事、イベントを実施。

事業名	開催回数	参加人数	備考
お誕生日会 (海老江保育所)	3回	253人	6/19、9/18 8/12/18、 ※3/18中止
盆踊り大会(海老江保育所、 子ども・子育てプラザ)	1回	81人	8/7
きらめき文化祭 (海老江保育所)	1回	565人	11/11～11/14
節分お面づくりと豆まき (子ども・子育てプラザ)	1回	136人	1/24
合計	6回	1,035人	

⑦合同事業

事業名	開催回数	参加人数	備考
福島区老連教養講座交流発表会	1回	約500人	10/11老人 クラブ
「防犯教室」	1回	50人	12/17福島 警察署
福島区老連カラオケ大会	1回	191人	1/31 老人クラブ
第8回きらめきミーティング	中止	0人	3/4 福島区役所
合計	3回	741人	

⑧その他

ア 囲碁将棋大会（同好会主催定例会）

囲碁：11回 計234人

将棋：11回 計292人

イ 春・秋カラオケ発表会（カラオケ同好会主催）2回 計148人

[実績報告]

①サービス向上策

施設運営委員会を通じて地域の意見・要望を広く求めるとともに、同好会等の利用者代表者会議を適宜開催し、利用者の意見をセンター運営に反映させてサービス向上に努めた。

②利用促進策

センター行事等の情報を提供する「センターだより」の内容の充実に努めたのをはじめ、市・区社協のホームページ及び区の「広報ふくしま」、区社協の「あいあいだより」を活用した広報活動の充実に努めた。また利用者個々のニーズ把握に努め、行事等の立案・運営に反映する事により、利用率向上に努めた。

③利用者の満足度の把握について

代表者会議を通じて意見を直接収集するとともに、アンケートの適宜実施によってニーズの把握に努めた。

④平等利用の確保について

「施設運営委員会」を開催し、意見・助言を聴取して平等・公正な運営に努めた。

⑤他施設との連携、地域との連携、市民・NPOとの協働等

併設の海老江保育所、子ども・子育てプラザをはじめ、福島区食生活改善推進員協議会、福島区健康推進協議会と連携したお誕生日会を定期的に行なった。

⑥建物の維持管理の取組みについて

水漏れ原因の水道バルブ交換、給茶室床、流し台パイプ、トイレ壁等、改修工事を行った。また日常の清掃時の点検を基本に定期的に館内巡視を実施し、引き続き軽微なものについては職員が修繕を行った。

⑦危機管理について（事故防止等安全対策、火災時緊急時の対応）

当センターは、区役所との協定によって災害時に福祉避難所として供用するため、12月1日にはあいあいセンターと連携して大規模災害を想定した災害訓練に参加、福祉避難所開設の現地訓練を行った。

⑧個人情報の保護・情報公開について

「大阪市個人情報保護条例」、「大阪市情報公開条例」をはじめ、当協議会の「個人情報保護規定」により、情報の漏洩や利用証の管理を的確に行い、引き続き個人の権利・利益の侵害防止に努めた。

⑨過去4ヵ年度の利用者数の推移 (人)

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
年間利用者 (延べ人数)	31,382	31,311	29,895	※① 27,866
月平均 (延べ人数)	2,615.6	2,609	2,491	※② 2,533
一日平均 (延べ人数)	107.5	106.8	102.4	※② 105.5

※①令和元年年度は新型コロナウイルス感染予防の為、2/29～3/31閉館となる。

※②月平均は11ヵ月、1日平均は閉館期間26日を除いて算出。